

キンイロネクイハムシ

Donacia japana

兵庫県：C

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

体長7.5～9.0mm程度。体色は金銅色で、上翅中央部には赤銅色の縦線を装う。平地から山地の湿地に生息し、幼虫は水生植物の根を食べる。成虫は春季に見られ、ミクリ類の葉を好み、スゲ類の花にも集まる。



写真提供：八木剛

国内分布

本州、九州

県内分布記録

宝塚市、三田市、三木市、加東市、養父市、西宮市、猪名川町、神

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○		○			

特記事項

その後の調査では少し確認されているが、食草のミクリ類が減少しており、生息基盤が脆弱である。

保護上の留意点

池沼、湿地環境の保全